成果と課題

- ○「一生懸命がカッコイイ」を合言葉に、 ひたむきな姿で示すことが伝統・校風
- O超勤80時間越えの顕著な減少⇒更に+a
 - ・最終下校時間の引き上げ検討
 - ・通知表所見についての検討
- △ 不登校・CR登校等、支援を要する生徒

(R1:12→R2:12→R3:15→R4:14人) △アウトプットカのUP ~自らの思いや考えを伝えるカ

全国学調より 4項目の「当てはまる」のみ(県比較)

- ○自分に良いところある 39.4% (+1.3)
- ○ICT 活用 47.1% (+23.0)
- ○話し合いで深め広げる 43.3% (+4.6)
- ○人の役に立つ人間に 84.6%(+9.9)
- ○努力すべき事決めて取組 46.2%(+12.7)
- ▲学校行くの楽しい 34.6%(-9.8)→秋41.1%
- ▲違う意見楽しい 25.0%(-6.8)→秋34.5% ▲数学好き 21.2% (-9.6) →秋27.8%
- 理科好き 30.8%(+3.3) 国語好き 22.1%(+1.7)

学校の教育目標

豊かな人間性 たくましい実践力

◇きびしく ◇あたたかく ◇ねばり強く

「夢」と「志」を育む学校 なりたい自分を描く

My Own Challenge!

生きる自信に繋げる

自分の良さに磨きをかける、やりたいこと・好きなことの 実現に向けて具体的に取り組む(凸を伸ばす>凹を埋める)

・三者懇でのプレゼン

東山中学校のミッション 地域と共にある学校

《高山市小・中学校教育の方針と重点》

願い:郷土高山に根ざした心に残る教育を創造する

方針:郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための 資質・能力を育む

なりたい自分 重点:挑戦し続けるたくましさの育成

- ~ 達成感と貢献感を積み重ねることが 挑戦するエネルギーになる ~ ワクワクするカリキュラムマネジメント
- ・主体的・対話的で深い学びにつながる授業
- なりたい自分の確立をめざす個の見届け
- 一人一人を大切にし、すべての子どもに居場所をつくる 個の多様性を重視し一人一人の可能性を伸ばす教育により

よさを伸ばし自分らしい花を咲かせる力を!

育てたい資質・能力

自分や仲間を知り、知恵(知識・経験)を生かし、表現で解決する

~自分の現状を正しく認知し、知識や経験を活用しながら、より良い表現や考え(解決)を導き出していく~

学ぶ意欲を高め 「解決する力」を育む授業

〇自分がどこまでが分かって、どこから分からないのかを 把握しようとする生徒。

- ○分からなさ、課題、問題を解決するための方法を見出 そうとする生徒。
 - ・個別最適な学びの位置づけ
 - ・対話的な学びの位置づけ
 - ICTの活用

教

科

を

学

ぶ

○互いの違いを認め、多様性から学びを深める 〇生徒自身が「授業・家庭学習」のより良い学び方を



自らの学びを

自己調整する生徒 ~きく~

学びの良さを

認め広げる教師 ~伝える~

仲間と仲間を学ぶ

地域と共にある学校

- ○「持続可能社会の実現」に向けた学び
- 郷土の良さを知る 持続可能な郷土であるために
- ・生き残りにかける企業 ・SDGsに取り組む企業に学ぶ
- 専門家から学ぶ「持続可能社会」
- ・「郷土の未来を語る会」を核とした「郷土教育」の推進 ~地域の良さ・課題を明確にし、その解決・発展の道をさぐる~ 自分は地域の一員であり、地域の未来を担う一人として地域 の現状を把握し、良さ・課題を見つけ出し、更なる 高みや解決に向けて意見の違いを恐れず、考え、 手立てを持ち、共に力を合わせ取り組んでいく。 持続可能な社会・地域づくりに貢献できる人材を育んでいく。

「一生懸命がカツコイイ!」を実現する生徒会

♦「一人一人が輝く」を求めて! ◆ただ自らのためだけでなく、誰かのために力を尽す! ~誠実に役割を果たす~

◎正答率 数学:49%(県より-4% 国より-2.4高い) 国語:71% (県より1% 国より1%高い) 理科:53% ((県より1% 国より3.7%高い) △失敗・意見の違いを恐れず、自分の考えを持ち表現していくことに弱さがある。家庭学習 | ~3時間の割合が多い。

*実力テスト各教科 30 点未満の生徒を 15%以下へ

夏実カテスト

年 社: 22% 2年 社: 21% 数: 30.5% 理: 17.9% 3年 数: 26% 理: 24% 英: 33%

冬実力テスト

| 年 国:20.6% 社: 6.8% 数:19.5% 理:||.4% 英:|2.6% 2年 国:11.5% 社:15.6% 数:17.7% 理:20.8% 英:22.9% 3年 国: 4.8% 社: 8.7% 数: 16.3% 理: 15.3% 英: 11.5%

生徒の困り感に寄り添い、具体的な支援を生み出す (生物委員会を核として)

〇マインドフルネス部会の活動推進(ぎふ命の教育の推進)

- 発達障害に関する更なる理解、生徒の心の安定につながる活動
- ・計画的なSST, 講話、SOSの出し方教育の推進
- 〇日常生活で大切にすること
- * 食事・睡眠・運動 ・生活・生活習慣に関する指導
- O特別支援学級生徒の更なる安定 … 支援となる楽しき手立てを生む
- ・その子の特性をつかみ「良い状況を認め、自己肯定感を高め、安定を生む」

誰ひとりとして寂しい思いをしない学校 に向けた歩み

自己有用感UP…将来の幸せの芽

Good Job カード = 仲間は素敵だ!